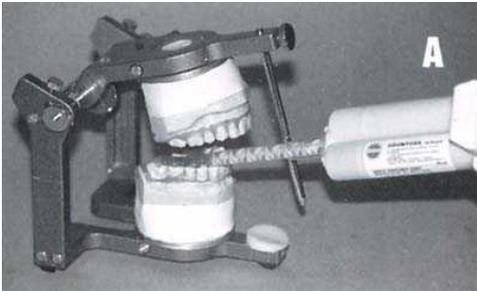


オドントシル取扱説明書

1.直接法 / DIRECT PRODUCTION

作業時間/分

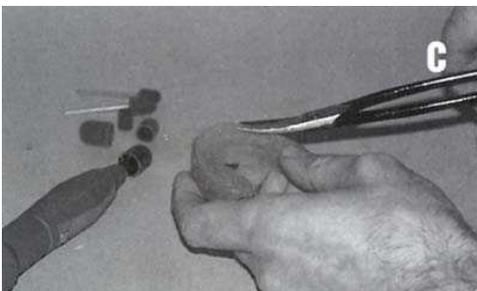


A. 形成したセットアップモデルを咬合器に装着し開口させる。インジェクターにミキシングカニューレを取り付け、模型上に直接オドントシルを盛りつける。

5-7



B. 盛りつけが終わったならば、咬合器を予めセッティングした咬合高径まで閉じ、指を石鹼水で濡らしてオドントシルの表面を滑らかにする。次に室温で加硫(硬化)させる。加硫による気泡の発生を防ぐために、最低3気圧の加圧下で行うこと。



C. 約30分加硫させた跡、ポジショナーを模型から外し、辺縁を大まかにハサミでトリミングする。グラインディングキャップやウルトラトリムを使い、滑らかに仕上げる。

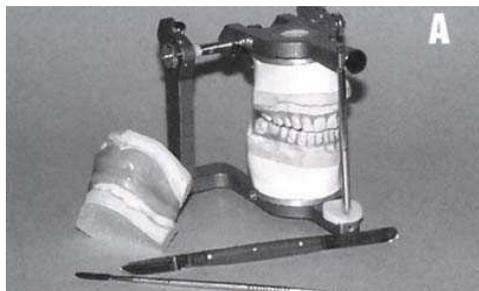
8-10

全工程時間

13-17

2.間接法 / INDIRECT PRODUCTION

作業時間/分



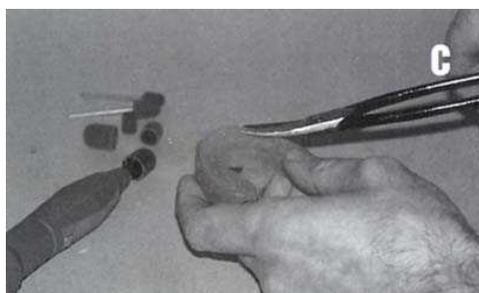
A. 形成したセットアップモデルから複模型を作り、咬合器に装着する。複模型の上にポジションナーをワックスアップし、最終的な形に仕上げる。

20-25



B. ワックスアップしたポジションナーを模型ごと咬合器から外し、重合用フラスコに埋没する。埋没した石膏が硬化したら、フラスコを熱湯で加熱し分割してワックスを流蟻する。流蟻後、アルギン酸分離剤を塗布し乾燥させた後、インジェクターにミキシングカニューレを取り付け、オントシルを填入する。

15-20



C. フラスコを閉じ、フラスコクランプで固定する。気泡を発生させないために3気圧以上の圧力をかけて約30分間加硫することが望ましい。加硫が終了したら、フラスコから取り出し、直接法と同じ手順でトリミング/研磨する。

4-6

全工程時間 39-51